

1-5 景観

現地調査計画

調査目的

平取ダム事業実施区域及びその周辺に存在する「主要及び身近な眺望景観」の状況を把握し、本事業実施に伴う景観変化の検討を目的としました。

調査方法

調査項目	調査方法
景観変化の検討	平成 16 年度現地調査（春、夏）により「主要及び身近な眺望景観」の状況を整理し、事業計画の重ね合わせにより影響要因を把握するとともに、フォトモンタージュやCG等の視覚的資料により景観変化を検討する。

なお、景観検討の対象となる主要及び身近な眺望点、景観資源は、以下の表に示すとおりです。

主要及び身近な眺望点	景観資源*
すずらん群生地周辺 道道芽生貫気別線 豊糠小中学校 宿主別橋 豊糠橋	平取ダム上流右岸の崖地 すずらん群生地 芽生地区の牧草地風景

平成 15 年度調査のヒアリング調査により得られた景観資源のうち、環境影響要因を視認できる領域に位置するものを抽出した。

調査時期

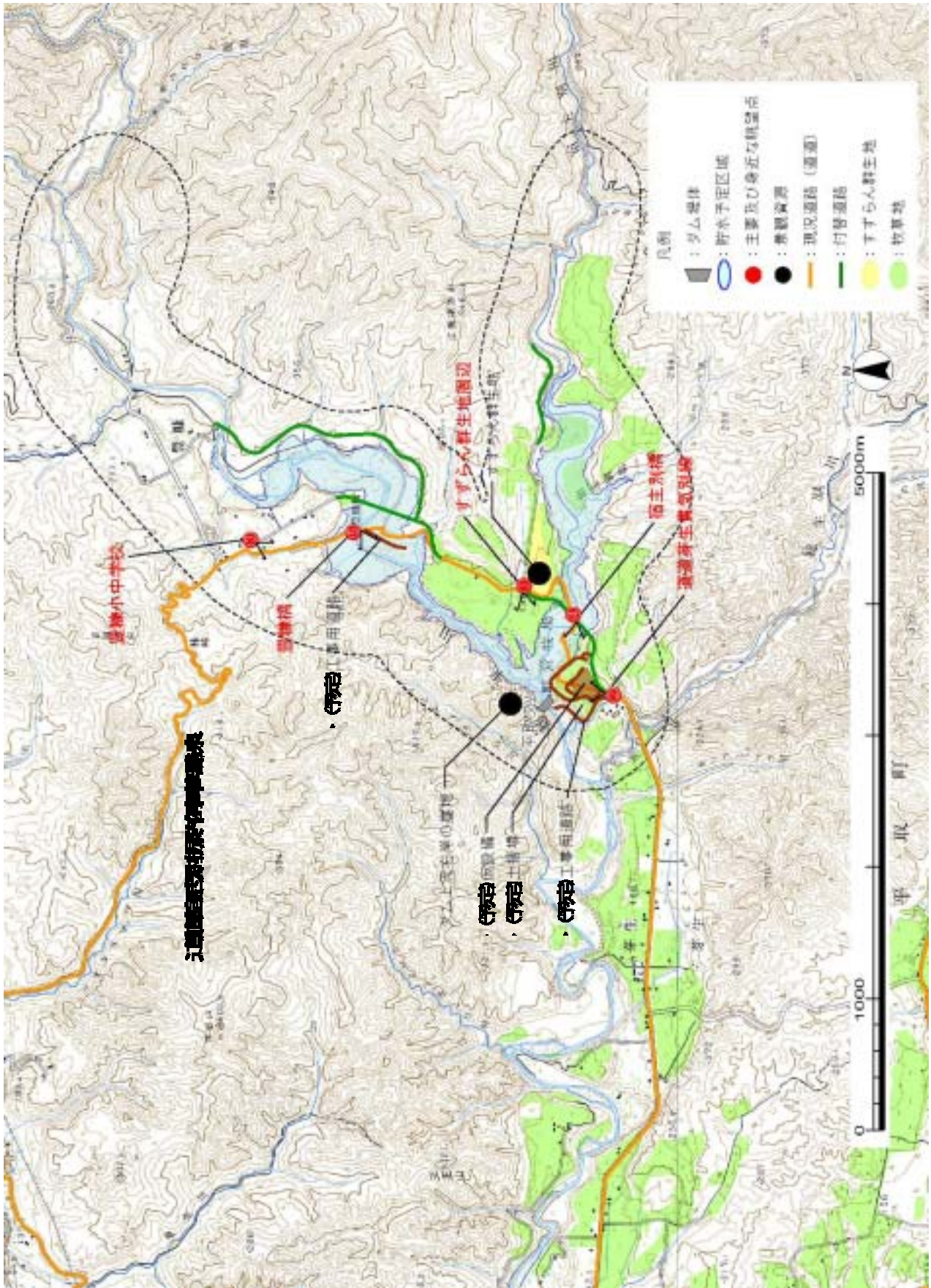
調査項目	調査時期
現地調査	平成 16 年度（春、夏）

平成 16 年度調査結果

主要及び身近な眺望景観の状況

現地調査により、主要及び身近な眺望景観の状況を把握しました。

主要及び身近な眺望景観	主要及び身近な眺望景観の状況
	<p>すずらん群生地周辺から平取ダム上流右岸の崖地及び芽生地区の牧草地風景を望む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すずらん群生地は、ダム堤体東側に位置する面積約 15ha の区域で、毎年 5 月下旬から 6 月上旬にかけてすずらん鑑賞会が実施され、多くの人々が訪れている。 ・すずらん群生地周辺の芽生地区には牧草地が広く分布し、視界が遮られることなく平取ダム上流右岸の崖地を望むことができる。 ・空間の広がり、自然の豊かさを感じることでできる眺望景観である。
	<p>道道芽生貫気別線から平取ダム上流右岸の崖地及び芽生地区の牧草地風景を望む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道道芽生貫気別線は、ダム建設予定区域を東西に横断する道道であり、平取町市街地方面からの主要幹線道路である。 ・ダム下流の沿道は、牧草地が広がり、北方向に平取ダム上流右岸の崖地を望むことができる。 ・遠方には日高山地中核部の縁辺に沿って広く分布する中起伏山地がなだらかなスカイラインを形成している。
	<p>豊糠小中学校から平取ダム上流右岸の崖地を望む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊糠小中学校は、道道宿志別・振内停車場線沿道に位置しており、周辺の豊糠地区に広く分布する連続した樹林地景観を形成している。 ・当該地からは、樹林地等により平取ダム上流右岸の崖地を望むことができない。
	<p>宿主別橋から平取ダム上流右岸の崖地を望む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿主別橋は、宿主別川に架かる橋梁で貯水予定区域内に位置する。 ・眼下には宿主別川の流軸景を望み、正面に平取ダム上流右岸の崖地を望むことができる。
	<p>豊糠橋から平取ダム上流右岸の崖地を望む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊糠橋は、額平川に架かる橋梁で貯水予定区域内に位置する。 ・眼下には緩やかに蛇行する額平川の流軸景を望み、平取ダム上流右岸の崖地を望むことができる。



影響検討

「主要及び身近な眺望点」及び「景観資源」については、事業計画を重ね合わせ、位置、改変の程度を把握しました。また、「主要及び身近な眺望景観」については、フォトモンタージュにより景観の変化を把握しました。

なお、主要及び身近な眺望点のうち、対象事業の実施により影響（貯水池に水没する）が認められる 宿主別橋、 豊糠橋からの眺望景観については、参考として架け替えられる橋梁からの眺望景観をCGにより把握しました。

景観検討の対象	検討の手法	景観検討の結果
主要及び身近な眺望点 ・すずらん群生地周辺 ・道道芽生貫気別線 ・豊糠小中学校 ・宿主別橋 ・豊糠橋	事業計画との重ね合わせにより位置、改変の程度を把握する。	すずらん群生地周辺、道道芽生貫気別線及び豊糠小中学校は、対象事業実施区域外に位置することから、対象事業の実施による改変はない。 宿主別橋及び豊糠橋は、対象事業の実施により水没する。
景観資源 ・平取ダム上流右岸の崖地 ・すずらん群生地 ・芽生地区の牧草地風景		平取ダム上流右岸の崖地及びすずらん群生地は、対象事業の実施による改変はない。 芽生地区の牧草地風景の一部は、工事用道路、貯水池により水没する。
主要及び身近な眺望景観 すずらん群生地から平取ダム上流右岸の崖地及び牧草地風景 道道芽生貫気別線から平取ダム上流右岸の崖地及び牧草地風景 豊糠小中学校から平取ダム上流右岸の崖地 (以下参考) 宿主別橋からダム上流右岸の崖地 豊糠橋から平取ダム上流右岸の崖地	景観検討にはフォトモンタージュ及びCGを用いた。 検討対象時期は、ダム堤体等が景観に及ぼす影響が最大となるダム供用後を想定し、かつ利用者人数が最大となる初夏（すずらん鑑賞会時期）とした。また、貯水池の水位は常時満水位とした。	額平川、宿主別川の河畔林が貯水池の影響により消失し、ダム堤体、切土法面及び貯水池が出現する。 平取ダム上流右岸の崖地の麓から牧草地を横断するダム堤体と、切土法面が出現する。 当該地からは、平取ダム上流右岸の崖地および対象事業の実施によるダム堤体、貯水池等は確認できない。 供用後の宿主別橋からの眺望景観は、現況高さから約40m高くなり、ダム堤体と貯水池を一望する奥行きのある眺望景観となる。 供用後の豊糠橋は、現況高さから約30m高くなり、正面に平取ダム上流右岸の崖地を望み、眼下一面に水面が広がる眺望景観となる。豊糠橋からダム堤体の存在を確認することはできない。

すずらん群生地から平取ダム上流右岸の崖地及び芽生地区の牧草地風景を望む

現況の主要及び身近な眺望景観の状況



供用後の主要及び身近な眺望景観の状況



フォトモンタージュ 1

額平川、宿主別川の河畔林が貯水池の影響により消失し、ダム堤体、切土法面及び貯水池が出現する。ダム堤体は背景の稜線内におさまる、スカイラインに変化は見られないが、水平方向の直線的な堤体の存在により、眺望景観の変化が認められる。また、ダム堤体右岸側の切土法面は、現状の斜面樹林が消失し、眺望景観の変化が認められる。

道道芽生貫気別線から平取ダム上流右岸の崖地及び芽生地区の牧草地風景を望む

現況の主要及び身近な眺望景観の状況



供用後の主要及び身近な眺望景観の状況



フォトモンタージュ 2

平取ダム上流右岸の崖地の麓から牧草地を横断するダム堤体と、切土法面が出現する。ダム堤体は背景の稜線におさまり、スカイラインに変化が見られないが、水平方向の直線的な堤体の存在により、眺望景観の変化が認められる。またダム堤体右岸側の切土法面は、現状の斜面樹林が消失し、眺望景観の変化が認められる。

道道芽生貫気別線の付替え整備による道路、法面及び附属物等が景観に変化を与えている。

豊糠小中学校から平取ダム上流右岸の崖地を望む

現況の主要及び身近な眺望景観の状況



当該地からは、景観資源および対象事業の実施によるダム堤体、貯水池等は確認できない。

(参 考) 宿主別橋からダム上流右岸の崖地を望む

現況の主要及び身近な眺望景観の状況



供用後の主要及び身近な眺望景観の状況



C G 1

供用後の宿主別橋からの眺望景観は、現況高さから約 40m 高くなり、ダム堤体と貯水池を一望する奥行きのある眺望景観となる。

平取ダム上流右岸の崖地の麓から牧草地を横断するダム堤体は、背景の稜線内におさまリ、スカイラインに変化は見られない。

(参 考) 豊糠橋から平取ダム上流右岸の崖地を望む

現況の主要及び身近な眺望景観の状況



供用後の主要及び身近な眺望景観の状況



C G 2

供用後の豊糠橋は、現況高さから約 30m高くなり、正面に連続する平取ダム上流右岸の崖地を望み、眼下一面に水面が広がる眺望景観となる。

豊糠橋からダム堤体等の存在を確認することはできない。

貯水池の存在により眼下に広大な水面を望む眺望景観となる。